

「奈良県公共工事等電子入札システム」更新にかかる情報提供依頼実施要領

I 基本事項

1. 提供を依頼する情報

「奈良県公共工事等電子入札システム」のシステム更新を行うための検討にあたって必要な情報

2. 提出物

Ⅲに示すとおり

3. 提出期限

令和6年9月27日（金）16時までにご提出をお願いします。

4. 提出方法

5. に定める提出先へ電子メール、または持参により提出してください。

5. 提出先・お問合せ先

奈良県県土マネジメント部建設産業課入札契約係 担当：柳原

〒630-8501 奈良市登大路町30

Tel:0742-27-7486（直通） Fax:0742-27-5313

e-mail: ken-san@office.pref.nara.lg.jp

6. その他

- ① 情報提供にかかる費用につきましては、各社にてご負担いただきますようお願いいたします。
- ② 本件情報提供依頼において掲げている新システム導入の基本条件は、実際にシステムを調達する際の仕様・要件定義と内容が一致するものではありません。各位から提供していただいた情報その他を総合的に勘案した上で、令和7年度6月頃に正式な仕様書を提示して調達を行う予定としています。
- ③ 一部資料等については、セキュリティ面から Web サイトに公開していません。本情報提供へ参加を検討いただいている事業者におかれましては、「5. 提出先・お問合せ先」に示す連絡先まで連絡をお願いします。別途提供する情報の取り扱いに関する誓約書を提出いただき、これらについて提供させていただきます。

- ④ 提供された資料に関しては、返却しません。
- ⑤ 本 RFI に伴い、本県が提供する資料及び質問回答の内容は、第三者への開示及び他の用途への流用を禁じます。

II 「奈良県公共工事等電子入札システム」開発の基本条件

本 RFI（情報提供依頼）は、本県の「奈良県公共工事等電子入札システム」の更新にかかる情報提供をお願いさせていただくものです。

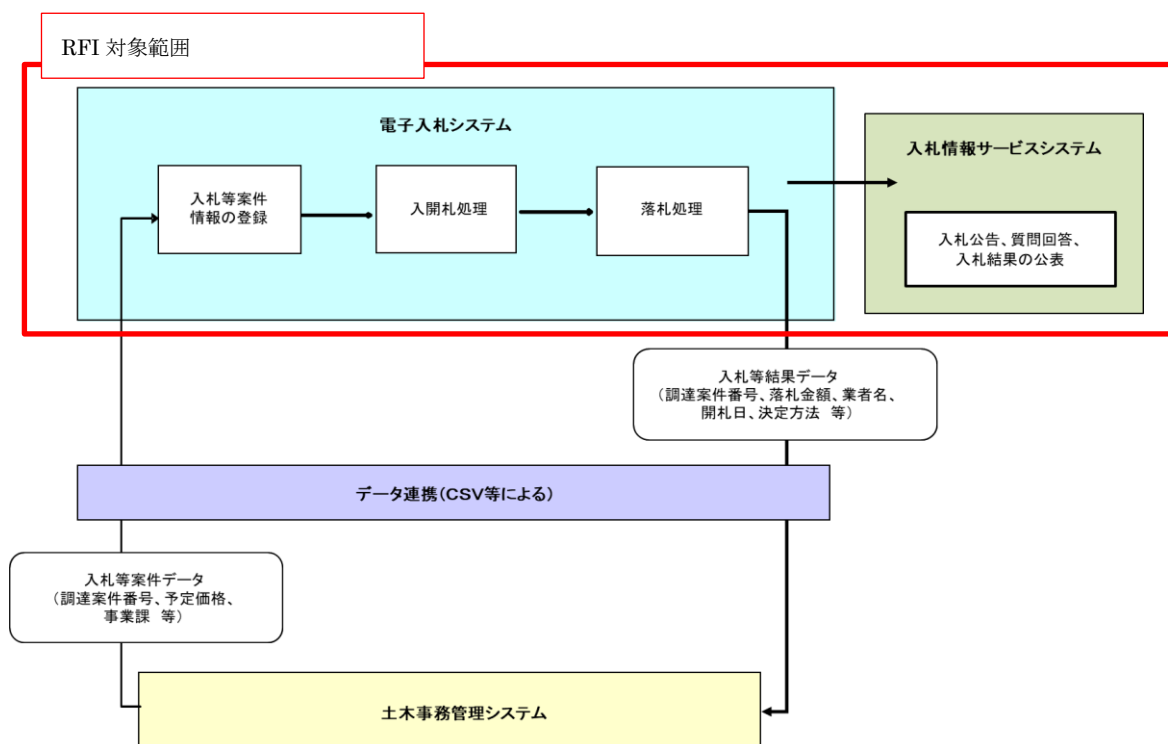
1. 概要

- ・ 現行システムについて

システム名：奈良県公共工事等電子入札システム・入札情報サービスシステム (PPI)

昨年度システム利用発注案件数：2930件

利用業者（受注者）数：約3500者



- ・ 業務概要

【電子入札システム】

ガバメントクラウドに準拠し、インターネット環境で公共工事における入札事務を行うためのシステム。工事・業務委託案件の電子入札の執行に際して、別開発のシス

テムである土木事務管理システムから、CSV 形式データで出力された業者の資格情報、調達案件名称、案件番号、予定価格等のデータを取り込み、調達案件登録～落札決定までを行う。落札決定後には、CSV 形式で入札結果等のデータの出力を行うため、CSV 形式の入出力機能は必須となる。

【入札情報サービスシステム (PPI)】

入札公告等の関連資料、質問への回答及び開札録を掲載する WEB サイト。電子入札システムへの案件登録時に連動して案件名称等の登録が行われ、資料登録が可能となる。発注者用サイトと受注者用サイトのそれぞれ構築が必要。

受注者用サイトでは、公告資料等の DL に際してアカウントの登録は不要。

入札公告等の関連資料を掲載する際のデータ容量は 1 案件につき 100MB まで可。

掲載した公告資料の掲載期間については開札日から一ヶ月間 (期限後に自動削除)。

開札録は落札決定した年度の翌年度末まで掲載 (期限後に自動削除)。

2. 現行業務について

業務フローの 1 例として、奈良県が発注する総合評価落札方式 (※1) の公共工事は次の流れで実施している。(他方式は別紙業務フロー参照)

①入札公告→②参加申請受付 (※2) →③技術提案書 (事前：電子入札システム上で提出) 受付 (※3) →④入札書受付 (※4) →⑤開札→⑥技術提案書 (事後：電子入札システム上又は持参で提出) 等受付→⑦落札者決定

(※1) 入札価格と技術評価点 (企業の技術提案力や技術者の実績等を評価した点数) を総合的に評価して落札者を決定する方式。

(※2) 土木事務管理システムの業者情報と連動しており、入札参加資格のない業者が参加申請を提出する場合には注意喚起のメッセージが出るようになっている。

(※3) 技術提案評価型：技術提案書 (事前) の提出を求める型。技術提案書の受付時に、自動で匿名化処理を実施しており、評価者にはどの企業の技術提案書かわからなくする事で、より公平な審査を可能としている。

企業・技術者評価型：技術提案書 (事前) の提出不要。③は実施せず。

(※4) 入札書の提出時には、入札金額＋内訳書 (低入札価格調査意向確認書含む) ＋くじ番号＋配置予定技術者の氏名＋自己申告評価点の入力および添付が必要。

3. システム構築等に係る要求事項

・想定するシステム概要

現行の奈良県公共工事等電子入札システム及び入札情報サービスシステムの機能

を維持しながら以下の要件を満たすことを想定。

- (ア) 受発注者の操作ミス防止（入札中止の低減）及び、各受注者が入札参加可能な案件の見える化（入札参加率の向上）につながる UI であること
 - (イ) 予備知識の無いユーザー（受発注者）でもストレス無く業務が行える動作環境（情報処理速度、視認性・利便性）及び直感的な操作性を備えること
 - (ウ) 奈良県土木工事管理システムとの自動連携ができる機能を備えること（奈良県土木工事管理システムから CSV 形式で出力するデータの出力先となるアドレス等）
 - (エ) 国からの要請等や、入札制度の変更等に柔軟に対応できるよう機能拡張性や保守性の高いシステムであること
 - (オ) 現行システムの機能改修要望（別紙）を盛り込むこと
- ・その他
- (ア) インターネット環境において職員の端末から利用ができること
 - (イ) OS へ常に最新のセキュリティパッチを適用するとともに最新のブラウザ環境（edge）に対応すること
 - (ウ) ガバメントクラウドに準拠したクラウドプラットフォームを採用すること
 - (エ) 国からの要請へ対応できること（暗号鍵の変更、デジタル庁デザイン指針への準拠、デジタルでの情報公開範囲の拡大要求への対応等）
 - (オ) 新システムの操作マニュアル（発注者・受注者双方を用意すること）
 - (カ) ログの出力または記録する機能があること

※ 他自治体ですでに構築・運用実績のある機能等、本県でも利用可能なものについての提案願います。

Ⅲ ご提供いただく資料

1. 貴社概要

2. 提案可能サービスと体制、導入実績・導入規模

3. 提案概要とその優位性

- ・システム概要説明（開発方法：スクラッチ・パッケージソフト・国等からの提供されたソフト）
- ・新システム構成図（※LGWAN-ASP利用有無についても記載）・ハードウェア構成図（※サーバ・端末（全庁共通・所属調達）・複合機（全庁共通・所属調達）・所属調達NAS・その他、機器台数についても記載）
- ・システム機能要件・非機能要件（セキュリティ等）
- ・システムのイメージ（画面）
- ・システム運用スケジュール（年間）

4. 概算見積書の提出

現在想定している移行時期（令和7年度中（令和8年3月本稼働））を踏まえての新システムの提供が可能な場合に現時点で想定されうる諸経費を考慮し、本システムに要する費用の見積りを添付の「標準見積書様式」に従って作成し、提出してください。開発作業にかかる経費については、「（別紙）開発スケジュール様式」に従って、作業項目ごとの開発スケジュールを作成し、添付してください。

なお、見積りにあたり、詳細条件又は追加条件等が必要な場合は、貴社で条件を設定し、それらを示したドキュメントを添付してください。